



筑豊トライ

NO.22

2018年4月10日

発行 者：JR九州労組中央本部筑豊支部

発行責任者：阿萬一秀、編集責任者：水野祐一

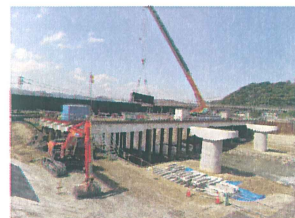
日田彦山線 現地視察行動!



宝珠山～大鶴間



筑前岩屋駅ホーム



花月川橋梁

4/3 本部役員、支部より阿萬委員長・山口副委員長・水野書記長、JR 議員団より手嶋川崎町長・石松田川市議・村山議員団団長(太宰府市議)他 18 名が参加。被災した現地の視察を行いながら、JR の動向及び関係自治体の動きや「鉄道軌道整備法改正」のポイント、今後各自治体での取り組みなど意見交換を行い、久大線の「花月川橋梁」の復旧現場もあわせて視察した。早期復旧に向け、関係自治体等と連携・協力をしながら「鉄道ネットワーク」を維持していくためにも、地元住民の方々のご意見等も尊重しつつ各自治体・行政に対して働きかけ、今までの全国的な事例等を提案しながら「鉄道軌道整備法案改正(案)」の取り組みも展開していかなければなりません。

日田彦山線復旧「早期に」

JR九州と自治体初会合

昨年7月の九州豪雨で被災した日田彦山線の復旧に向け、JR九州と福岡、大分両県、沿線の福岡県糟屋郡と添田町、大分県日田市は4日、福岡市内で初会議を開いた。社長や市長が出席し、復旧方針を共有し、早期に結論を出すよう確認した。

日田彦山線は、青柳俊彦社長は「国は鉄道復旧を急ぐべきだが、動・海手段や地盤掘削に添田(福岡市)・夜明(日) 重要、連携して方針を練りたい」と強調している。また、大分県日田市は「復旧方針を共有し、早期に結論を出すよう確認した。」と述べた。

JR九州の代表は、阿萬委員長、水野書記長、山口副委員長、川崎町長、石松田市議、村山議員団団長、太宰府市議、他18名が参加した。

阿萬委員長は「被災地を視察しながら、JRの動向及び関係自治体の動きや『鉄道軌道整備法改正』のポイント、今後各自治体での取り組みなど意見交換を行い、久大線の『花月川橋梁』の復旧現場もあわせて視察した。早期復旧に向け、関係自治体等と連携・協力をしながら『鉄道ネットワーク』を維持していくためにも、地元住民の方々のご意見等も尊重しつつ各自治体・行政に対して働きかけ、今までの全国的な事例等を提案しながら『鉄道軌道整備法案改正(案)』の取り組みも展開していかなければなりません。」と述べた。

水野書記長は「被災地を視察しながら、JRの動向及び関係自治体の動きや『鉄道軌道整備法改正』のポイント、今後各自治体での取り組みなど意見交換を行い、久大線の『花月川橋梁』の復旧現場もあわせて視察した。早期復旧に向け、関係自治体等と連携・協力をしながら『鉄道ネットワーク』を維持していくためにも、地元住民の方々のご意見等も尊重しつつ各自治体・行政に対して働きかけ、今までの全国的な事例等を提案しながら『鉄道軌道整備法案改正(案)』の取り組みも展開していかなければなりません。」と述べた。

西日本新聞 4月5日付

2018春闘

2/15 連合遠賀川地協
春闘開始宣言集会
水野書記長 決意表明



3/15 中央総決起集会
本部へ幟布を!



ペア 300円

- ・委託再雇用社員 1,200円
- ・地域社員 200円

夏季手当 2.52箇月
+ 一時金 50,000円
(6/29以降準備出来次第)

配布物の確認を!

- | | |
|-------|-----------|
| 全労済 | 4/25 |
| 交運共済 | 4/27 支部締切 |
| 私傷病共済 | 5/2 |

— 中野職員が復帰します —

2017年7月29日に次男出産後の育休から復帰します
4月17日(火)より 当面、火・水・金曜日 9:30~13:30

